



カトリック長崎大司教区  
広報委員会  
〒852-8113  
長崎市上野町10-34  
カトリックセンター内  
Tel. 095-843-3869  
Fax 095-843-3417  
振替口座 01880-5-2699  
発行人  
大 水 文 隆  
印刷所  
株式会社 藤木博英社

教皇さまの意向

- ・一般 戦争や暴力の激しい地における平和の実現
- ・宣教 世界宣教の日にあたり、福音宣教の熱意
- ・日本 人類共通の課題に取り組み、人々の諸宗教対話のための諸宗教対話

長崎教区カテキスタ会の設立を考える

日本カテキスタ会とその信仰養成講座

大司教ヨセフ高見 三明



高まればと願っています。

1 伝道学校から神学講座・聖書講座へ

教区シノドスの中でも指摘された教区的重要課題の一つは、「教区全体の信徒の(継続的な)信仰養成」です。これを果たするために「カテキスタの(継続的な)養成」は不可欠です。

日本のキリシタン復活の後、1871年の大浦伝道学校に続いて、五島の各地に伝道学校が設立され、多くの「教え方」が養成され、実際に活躍しました。しかし、1970年をもって最後の伝道学校が閉鎖されました。

それと前後して、1962〜65年に開催された第2バチカン公会議は、すべてのキリスト信者、すなわち教皇・司教・司祭・助祭・男女修道者・信徒は、それぞれの召命に応じた方法でキリストの預言職に参与し、福音を証しする使命を果たさなければならぬと計られたのです。

2 日本カテキスタ会

「歴史」 日本カテキスタ会は、1969年、日本の各教区で働くカテキスタの団体として、神言修道会のゲオルグ・ゲマイン

第39回大村殉教祭が9月7日(日)13時から、教区主催、同実行委員会(水主町教会・植松教会)運営のもと行われ、大村市民会館で講演会と記念ミサが、また、放虎原殉教地でみことばの祭儀があった。

村祭 大殉教

日本の信徒発見150周年を前に  
先祖たちのメッセージを考える

講演会では、純心女子学園理事長の片岡千鶴子修道女が「日本の信徒発見150周年を前に―先祖たちのメッセージを考える―」と題し、講演。

片岡修道女によると、「発展」「殉教と潜伏」「復活」という3つの時代に区分することができると、日本のキリシタンの歴史は、大村のそれと重なる。放虎原などで殉教した日本二

を目指し、必要に応じた助言と援助を与え、生涯にわたり霊的および知的な養成を行うことを目的としています。

【活動】 創設以来、2泊3日のカテキスタ養成コースがありました。その後は1泊2日の会員研修会や養成講座が行われてきました。ここ8年は年に1回東京で、関心のある方はどなたでも参加できる「公開信仰養成講座」を行っています。昨年まで4回にわたって「カトリック教会のカテキズム」を学びました。また「NCK通信」を年4回発行しています。東京・横浜・名古屋・大阪などには「教区CCK」があり、それぞれの地域でも活動しています。

3 長崎教区カテキスタ会の設立に向けて

教区主催の聖書講座と神学講座(現「信仰養成講座」)を修了して要理教師資格2級を取得した方々が、延べ1,227名にのぼりますが、大半の方がカテキスタとしての役割を果たせないままです。カテキスタの養成(実践を含む)を行うことのできる組織として、「長崎教区カテキスタ会」の設立を考えたいと思います。

4 教区における信仰教育の歩み

- 1871年 大浦伝道学校
- 81年 鯛之浦伝道学校
- 1900年頃 桐古里伝道学校
- 11年 青砂ヶ浦伝道学校
- 14年 奥浦伝道学校
- 36年 仲知伝道学校
- 51年 神学講座開講
- 62年 お告げの聖母カテキスタ学院
- 67年 要理教育研究会発足「要理教育」発行
- 70年 神学講座基礎課程開講
- 73年 要理教育研究所設立「神さまのこども」発行
- 74年 「要理教師の友」発行
- 77年 聖書講座開講
- 93年 伊王島で司祭研修会カテキスタ養成委員会設立
- 2001年 11委員会の設置(信仰教育・生涯養成)
- 08年 委員会の再編(信仰養成部へ)

ほしかげ

長崎教区というキリストの神秘体は、信徒発見150周年を機に「この教区がどうあるべきか、どのように舵を切るべきか」を真剣に話し合っている。提言が血の通ったものとなるために、必ずこの教区の心臓部がきちんと動いていることを把握しておく必要がある。心不全や心筋梗塞になれば、一巻の終わりである。▲長崎教区の心臓部はどこか。全身に血液を送り、よんだ血をきれいに洗浄して酸素を末端まで届けてくれる部分はどこか。わたしは「祈る共同体のあるところ」だと思っている。毎日毎瞬間、一切変わらないリズムで祈り続ける共同体。これがキリスト教共同体の心臓部ではないだろうか▲心臓は必ず同じリズムで働き、力を発揮しなければならぬ。場合によってはふだんの何倍もの血液を送り出し、全身の激しい運動を支えなければならぬ。長崎教区は、これから最終決定されるであろう提言を支えるだけの丈夫な心臓部を持っているのだろうか。教区の中に、心臓の働きを思い出して、活動に必要な酸素を送り出すため、毎日毎日全く同じリズムで欠かさず祈ってくれる人がいるだろうか▲これからさらに、教区の心臓部を担ってくれる人々が必要だと思っている。だれにも何も告げなくて構わない。ただ決まった時間に祈ってほしい。心臓だって、だれにも何も言わず、黙って動いているのだから。(K・N)

2014年度 NCK 信仰養成講座  
「第二バチカン公会議公文書を学ぶ」  
シリーズ(1)『教会憲章』

【日時】 11月23日(日)〜24日(月)  
【場所】 カトリックセンター 2階ホール  
【受講料】 両日聴講 3000円  
1日聴講 2000円  
【申込先】 NCK事務局まで、fax・メール・はがきにて申込み(11/15締切)

〒554-0011  
大阪市此花区朝日2-13-12  
Tel. 06-6468-6257  
Fax 06-6468-6258  
Eメール nckkate@gmail.com

【プログラム】

11月23日(日・祝)

―12時開場(13時までにお願いします)―

※第1講話(13時30分〜15時)

テーマ 「教会の神秘」「神の民」

講師 高見三明大司教(NCK顧問司教)

※第2講話(15時30分〜17時15分)

テーマ 「教会の位階的構成、とくに司教職」

講師 佐々木博師(仙台教区司祭)

11月24日(月・振休)

※第3講話(9時〜12時)

テーマ 「信徒」

講師 小西広志師(フランシスコ会・聖アントニオ神学院教員)

※派遣ミサ(12時30分)



○五殉教者の列福と「信徒発見」とは深い関わりがあり、日本の信徒発見(1865年)の知らせを聞いた時の教皇ピオ9世がその信仰と忍耐をたたえ、日本の205

続く記念ミサでは約700人が祈りをささげ、この日の福音の教え「ゆるし」について、高見大司教の説教に耳を傾けた。

ミサ後は放虎原殉教地に移動し、みことばの祭儀が行われた。その中で、このほど中町教会(長崎市)から譲り受け移設した、大村ゆかりの聖ヤコブ朝長と大村の聖マリナを含む十六聖人の金属製のモニュメントが、高見大司教によって祝福された(写真)。

大村殉教祭実行委員長の岩永正次さん(水主町教会)は、「殉教者たちが信仰を守り通すことができたのは、家族や周りの人たちが皆が心の中の手を握り合うようにし、また、家庭や教会での祈りがあったからなのではないか。現代において、祈るということは厳しいことかもしれないが、少しでもそうできればと願う。そして私たちにとってこの地は忘れてはいけな場所です」と話した。

放虎原殉教地では数年前から、日本二〇五福者の記念日にあたる9月10日にも植松・水主町の両教会によるミサが行われていて、今年も19時から実施された。



信徒発見150周年と高山右近列福に向けて  
これだけのことは知ってほしい⑧

# 家族的共同体と司祭養成

長崎教区司祭 山村憲一

2013年4月に開校した福岡コレジオでの生活も、1年半になろうとしています。この4月からは、2年生1人、1年生2人、そして韓国の大邱大司教区から派遣された2人、計5人の神学生との共同生活を送っています。

福岡コレジオの正式名称は「長崎教会管区司祭志願院」九州5教区の18歳から36歳までの司祭志願者を受け入れます。ほとんどの神学生がコレジオから大学に通い、4年間を過ごして大神学校に進むことを目的としています。この福岡コレジオでの体験を振り返り、感じたことをいくつか書いてみようと思います。

## 司祭養成者として 何も持たない不安の中で

司祭叙階の恵みをいただいて22年、ずっと小教区で働いてきた私にとって、司祭養成の仕事に携わることはとても不安なことでした。司祭養成者と呼ばれるには、何も持たないからです。司祭養成者としての養成を自分自身が受けたことはありませんし、知識もありません。任命を打診された時、「若者の司牧にずっと関わってきたでしよう」と大司教様からお言葉をいただきました。確かに、高校生司牧、青少年委員会での活動を通して、高校生・青年たちとの関わりを体験してきました。でも、司祭召命に応えようとする神学生となると、その体験も十分なものではありません。

そのような不安の中、福岡コレジオでの生活は始まりました。状況としては、小神学校を卒業したての鹿児島教区の18歳、助祭叙階直前の福岡教区の43歳の韓国人という2人の神学生と、スタッフとして2人のお告げのマリア修道会シスターと院長である私の5人の共同体でした。副院長は、諸般の事情で任命されないままのスタートでした。在校生2人の神学校、それはやはり無理がありました。なによりも、共同体としてのバランスがうまくとれませんでした。9月に韓国人神学生が神学校を去った時は、私もたった1人となった神学生も大

変な時を過ごしました。幸い、成人志願者が10月と1月に入学してくれたことによって、その困難な時を乗り切ることができました。

5人の神学生が在籍し、週に2回の勤務であつても臨時の副院長(福岡教区信徒)がいてくださる現在の状況から実感することとは、司祭養成のためには、しっかりと共同体を形成することが何よりも大切であるということです。

## 神学生を取り巻く環境の変化

福岡コレジオを神学校として運営するため、そこにいる学生たちを神学生として養成するためには、やはり何らかの基準というものが必ずあります。福岡コレジオには養成指針や基本理念があります。しかし実際は、自分自身が養成を受けた神学生時代の体験が基準となり、判断してしまうという現実がありますし、私にはそれしかありません。例えば、神学生とはこうあるべきという判断基準となるものは、私自身が神学生時代に体験したことに基づくものとなってしまうのです。

十字架のしるしをまともにできない、神の十戒を知らない、祈りの時間になると居眠りをする、ロザリオの十字架を床に這わせて平気でいる、ミサに起きてこない……。

このような姿に直面すると、「本当にこれで神学生なのか、小神学校で何を教わったのか」と愚痴っている自分の姿が幾度となくありました。私の判断基準では、即刻退学を言い渡してもいいと思うようなことなのです。当然のごとく退学にすべきだという答えが返ってくると思いつながら、大神学校の養成者である先輩司祭に相談しました。でも答えは違っていました。「クビにしてはいけません。本人に気づかせ、本人に考えさせ、改善することを忍耐強く待つように」と言うのです。

神学生の質が明らかに低下していることを感じています。さまざまな理由があるのだと思いますが、そのうちの一つは明らかです。それは、神学生が育ってきた家庭環境の変化です。

家族全員がキリスト者である家庭に育まれた神学生がほとんどだった神学校、それは過去の話です。完全に逆転してしまっています。家族全員がキリスト者である家庭で育まれた神学生は、ほんの一握りとなってしまっているのです。その変化は、確実に司祭養成の在り方を考え直さなければならなくなっていると思います。健全なキリスト者の家庭で育ったのであれば当然身についているであろうことを、神学校の共同生活を通して身につけさせなければならぬ、それが福岡コレジオの現状となっているからです。大変ですが、「忍耐強く待つように」という言葉を受け止めるしかありません。召命の恵みを自覚し、力強く歩み始める日が来ることを信じて、関わり続けていくしかありません。

## 司祭養成は「共同体」と「家庭」を 見つめ直すことから

長崎教区の神学生数は激減しました。福岡コレジオに在籍する長崎教区神学生も、韓国の大邱大司教区から派遣された神学生1人しかいません。その原因の一つは、やはり家庭環境の変化なのだと思います。異

結婚が増えたことで宗教的にも、また社会的にも複雑な家庭環境に育っている子どもたちの中から司祭召命を見いだすことはとても困難です。また、子どもの方から「司祭になりたい」と声を上げてくれない、どんな家庭環境に置かれているかをまず考えて判断するということを、主任司祭として私自身も行ってきました。その判断が間違っているとは思いませんし、召命の見極めにおいて賢明な判断は必要です。しかし、その結果は神学生の激減という現実となっているのです。

乱暴な考え方もありません、でもお叱りを覚悟して言わせていただければ、司祭召命の可能性がある子どもたちや青少年はすべて、神学校に入学させるという考え方に立つ時を迎えているように思います。その発想を持たなければ、長崎教区の神学生が増えることはないと思います。

## 終わりに

神学生との共同生活を通して感じたことを思いつくままに書かせていただきました。どうぞ、福岡コレジオの神学生のために祈りをお願いいたします。またコレジオで奉仕するスタッフのためにもお祈りをお願いいたします。「忍耐強く待つ」姿勢を貫いて、神学生の良き父親、母親となれますように。



百数十年前とあまり代わり映えしない、鄙びた山肌の中腹に立地している聖マルコ園は、長崎市街地から西の方へ50分くらい車を走らせたところ(長崎市西出津町)にあります。出津教会の歴代主任司祭をはじめ地域の人々によって、フランス人宣教師マルコ・マリー・ド・ロ神父様の「隣人愛と奉仕の精神」が、脈々と鼓動しながら引き継がれてきた地です。

## お年寄りの「愛」の灯となって

を取られたイエス様、つまり支えがなければ生きていけない人々に、愛の灯をともしました。聖マルコ園が、ド・ロ神父様の霊名である福音史家の「聖マルコ」の名前をいただいていることから

分かるように、創立当初から43年にわたって、お告げのマリア修道会は、同じ精神で事業に励んでいます。

私たちの事業の理念である「愛と奉仕の精神」とは、ド・ロ神父様がその

の当時行った事業のすべての根底に流れていた「神への愛」「人への愛」、そして「誰にでも分け隔てのない愛」です。今まで引き継がれてきたこの精神が、これからも引き継がれていくものと確信



養護老人ホーム  
聖マルコ園  
Sr 村上順子

## カリタス大槌ベースボランティア募集

- 11月13日(木)～19日(水) (10/29締切)
- 12月11日(木)～17日(水) (11/26締切)
- 1月15日(木)～21日(水) (12/24締切)
- 2月12日(木)～18日(水) (1/28締切)

申し込みは所属小教区へ。問い合わせは教区本部事務局(松尾)まで。  
Tel 095-842-4450 Fax 095-842-4460



主の平安  
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二

長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011

24時間営業 FAX(095)843-9896

ご先祖に心より感謝を・・・

## 材石 治明

長崎本店 長崎市城栄町13-1 電話 (095) 846-3598  
大村店 大村市民霊園内 電話 (0957) 50-3008

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋削

## エテルナ・ワコー(株)

代表取締役 ミカエル 溝口 美義  
〒858-0926 佐世保市大湊町586  
TEL(0956)47-4380

## 巡礼ウォーク参加者募集

① 平戸ザビエル祭参加

【日時】11月30日(日) 7時45分集合(JR浦上駅)  
【コース】JR浦上駅→生月島・黒瀬の辻殉教地→巡礼ウォーク約4km→中江ノ島一周クルージング(上陸不可)  
【参加費】無料(昼食代「母々の手」2,160円自己負担)(18時解散) \*天候によりプログラム変更あり

② 日本二十六聖人時津から西坂への道

【日時】2015年2月1日(日) 8時集合(時津港 日本二十六聖人土降碑前) 約10km 12時解散(西坂公園)  
【参加費】無料 (締切) 1月16日(定員50人)

③ 信徒発見記念

【日時】2015年3月15日(日) 9時30分集合(本原教会正門前) 約4km 12時30分解散(大橋)  
【参加費】無料 (締切) 2月27日(定員50人)  
\*申込先 NPO法人長崎巡礼センター  
Tel 095・8933・8763  
Fax 095・8933・8293

注 いずれも  
定員になり  
次第締切



## 韓国でAYD開催

アジアの若者よ、目覚めよ！



ム・テゴンの出生地、ソルメ聖地でパパ様を迎え、言葉をいただきました。大会中、各国の伝統的な踊りや太鼓の披露、常に流れる「Wake up!!」のテーマソングとダンスは、皆の心を一つにしてくれました。

各国の教会の現状を説明するイベント——各国の代表者が自分たちの中にある悩みと、信仰への迫害、国における問題や課題を語り、それに対して自分たちはどのように対応していくことができるかを各々考えるプログラム——では、中国の青年たちが語った「この集いが思想的集会であるとの理由で参加できなかったが、多くの青年がAYDに参加したいと思っている。しかし政府が神を認めず宗教を大切にしている」との言葉を聞き、彼らのキリスト教に対する熱い思いと悩みを知る事ができました。日本の青年たちからは、「こ

れから積極的に教会に関わりたい」「青年同士の繋がりを大切にしたい」「この大会で学んだことを伝えていきたい」との声が上がっていました。AYDは、アジアの若者の繋がりを深め、同じ信仰を持つ仲間がいることを教えてくれる集いです。2016年にはポーランドのクラクフでWYD（ワールド・ユース・デー）が、17年にはインドネシアでAYDが開かれることになっています。

教皇様ご自身の司式で行われ、韓国KBSで生放送されました。いずれをとっても、韓国におけるカトリック教会の存在の大きさを見せつけるものでした。炎天下、自分たちの殉教者の列福式に熱心にあずかった韓国の信者と聖職者は、国内外にキリストを強烈に証したと思います」



長崎教区評議会は、『長崎の教会群とキリスト教関連遺産』の世界遺産登録の進展を受け、観光客巡礼団、マスコミ取材が増加する中、5月から8月にかけて教区内の7地区を訪問し、説明会を行った。

世界遺産候補の構成資産となつている長崎教区所有の教会は、国宝の大浦天主堂をはじめ、出津教会、大野教会（出津小教区巡回）黒島教会、田

平教会、頭ヶ島教会（鯛之浦小教区巡回）、江上教会（奈留小教区巡回）の7教会で、長崎中地区を除く6地区にある。世界

も、対応を本格化する必要に迫られている。今回の説明会は、このような背景のもとで行われた。説明会は、次の2点を

現場の声を聞き、説明不足を補い、課題を共有すること。

訪問者の増加は世界遺産候補の教会だけでなく、近隣の教会にも及んでおり、世界遺産登録が実現すれば、ますます増加することが予想される。一つ一つの課題を乗り越え、訪れる側、迎える側双方にとって幸いな出会いとなるよう、取り組んでいきたい。

「いっしょに」

▼第135回クルシリヨ 10月10日(金) 13日(月)、イエズス会立山修道院。問合先・長浦ヒロ子。 095・871・2910

▼島原・天草殉教者記念の集い「同じ思い、同じ心」信徒発見150周年を前に 10月12日(日)13時・15時。①記念ミサ 原城本丸跡。②聖体行列 二ノ丸跡まで。問合先・島原教会。 095・62・2952

純心聖母会島原修道院。 095・62・2092

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

8月10・17日、「アジアの若者よ、目覚めよ！殉教者の栄光があなに輝く」(イザヤ60・1参照)をテーマに、韓国のテジョン教区でAYD(アジア・ユース・デー)が開催されました。12日までの3日間は、各教区がアジアの22カ国から訪れた青年たちを迎える「教区での日々」で、参加者たちは韓国の文化を学び、信仰について考える分かち合いなどを行いました。

8月13日から本大会が始まり、聖アンデレ・キ

ム・テゴンの出生地、ソルメ聖地でパパ様を迎え、言葉をいただきました。大会中、各国の伝統的な踊りや太鼓の披露、常に流れる「Wake up!!」のテーマソングとダンスは、皆の心を一つにしてくれました。

各国の教会の現状を説明するイベント——各国の代表者が自分たちの中にある悩みと、信仰への迫害、国における問題や課題を語り、それに対して自分たちはどのように対応していくことができるかを各々考えるプログラム——では、中国の青年たちが語った「この集いが思想的集会であるとの理由で参加できなかったが、多くの青年がAYDに参加したいと思っている。しかし政府が神を認めず宗教を大切にしている」との言葉を聞き、彼らのキリスト教に対する熱い思いと悩みを知る事ができました。日本の青年たちからは、「こ

れから積極的に教会に関わりたい」「青年同士の繋がりを大切にしたい」「この大会で学んだことを伝えていきたい」との声が上がっていました。AYDは、アジアの若者の繋がりを深め、同じ信仰を持つ仲間がいることを教えてくれる集いです。2016年にはポーランドのクラクフでWYD（ワールド・ユース・デー）が、17年にはインドネシアでAYDが開かれることになっています。

教皇様ご自身の司式で行われ、韓国KBSで生放送されました。いずれをとっても、韓国におけるカトリック教会の存在の大きさを見せつけるものでした。炎天下、自分たちの殉教者の列福式に熱心にあずかった韓国の信者と聖職者は、国内外にキリストを強烈に証したと思います」

さらにその翌年65年10月1日号には、同年11月に出版教会で行われるド・ロ神父50年祭に関する記事が次の通りある。『略……民族的、政治的、経済的利益とは全くかわりなく、人々の靈魂を永遠の幸福に導くという、ただそれだけのために日本に渡来し、身につけた知識と技能、財産と体力のすべてをささげ尽したド・ロ神父の人間愛は、平和危機の増大とは反対に兄弟愛と万民連帯の精神の減退が注目されてい

また同年12月1日号。『追悼ミサの説教師を務めた郷土出身の松下佐吉師は』『ド・ロ師の信仰は出津にいまも生きつづけている。この信仰を展覧させることこそ私たちの義務である』とのべられた。ミサ後、野道の墓地まで追悼行列。美しく整理された墓地での説教で山口大司教さまは「一粒の麦は死んで一〇〇粒の実を結ぶという聖書

美と感謝をささげるために3年間にわたり、聖体礼拝と黙想、働きと研修で準備をしてまいりました。私たちの家族がたどった今日までの歩みには、いつも師イエス・キリストの同伴と、信徒の方々の寛大なご協力がありました。特に長崎大司教区の皆様の善意あふれるご協力は私たちの励みであり力強い支えです。

深い感謝を祭壇に携えて神様の祝福とお報いを心から祈願いたしました。過去から学ばせていただいた貴重な体験を生かし実らせながら次の100年に向けて出発したパウロ家族が、神様と教会に忠実でありますように、また新しい手段によ

る福音宣教の熱意を保ち続けましよう、あらためて皆様のお祈りとご協力をお願い申し上げます。喜びと感謝をご一緒してくださいました皆様、ありがとうございました。

師イエズス修道女会 長崎修道院 シスター西田日出子

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼召命祈願ミサ 10月24日(金)19時、大浦天主堂。

▼ホームレス支援講演会 10月25日(土)14時・16時、カトリックセンター講堂。講師：川上栄光師(神言修道会)。参加費無料。長崎ホームレスを支援する会主催。問合先・井手。 080・2714・8574

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。

▼牢屋の窄殉教祭 10月26日(日)13時、牢屋の窄(五島市久賀島)。

▼長崎中地区研修会「ワタシノムネ、アナタノムネトオナジ」 10月26日(日)14時・16時、カトリックセンターホール。講師：古巣馨師(大司教館)。長崎中地区評議会主催。



# 早岐教会献堂50周年

高見大司教を初めて迎え盛大に



島などから  
移住してき  
た信者のた  
めに、三浦

町教会の司祭が個人宅でミサをささげていたが、「早岐地区に教会を」との信徒たちの願いによって、1964年に現在地を購入、映画館を改築して聖堂とした。その後1985年には現在の教会が建設された。

野濱師は「50年間早岐教会を守り、支えてきた先人たちの信仰を思い起こし、ただ思い起こすだけでなく、それは受け継いでいかなければならない」とあいさつの中で語った。ミサ後に行われた祝賀会では、子どもたちによるハンドベルの演奏など、多くの祝いの演目が披露された。

8月31日(日)早岐教会(主任野濱達也師)において、献堂50周年を祝う記念ミサが行われ、高見大司教をはじめ歴代司祭、佐世保地区司祭団、小教区内外から多くの信徒が参列し、喜びを分かち合った。また50周年記念として、教会入口横にルルドが建設され、ミサに先立ち高見大司教によって祝福式が行われた。

戦後、平戸・黒島・五

「求めなさい。そうすれば、与えられる。……天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」  
(ルカ11・9、13)。

小学生の頃、私の憧れた神父様は、腎臓の持病で週に3回人工透析を受けていました。ミサの後、人のいないお御堂の片隅でうずくまって、何かをひたすら祈っている神父様の姿をよく目にしました。大人になり、ご本人に尋ねると「神さま、私の病気を治してください。何でもします。精いっぱい働きますから、お願いします」と祈っていたそうです。しかし、祈り続けても、病状はよくならず、かえって悪くなるばかり。さらに、何事にも神さまに感謝すべきだと知り、「この病気をくださったことにも感謝します」と祈りますが望み答えはなく、疲れ果てて心は渴き果て、「きれいな水の祈りにどんな意味がある」と、神さまに散々、思いのたけをぶつけるようになったそうです。「神さ



できる情報発信」のため、情報収集・システム構築・レイアウトなど、配慮は尽くす。

現職(聖母の騎士社)ではIT事業部を兼任。出版社という紙媒体を扱う中においてインターネットの良さを問うと、

「リアルタイムに世界中の人々へ情報発信ができ、双方向のコミュニケーションが可能であること」と話す。さらに、「ツイッターなどで配信されるパパ様のメッセージは世界中の人々の心に愛を運び、希望、勇気といった

## 諸宗教間の対話と実践

下五島地区で信仰養成講座

9月7日(日)、下五島地区(地区長下口勲師)は隔年で行われる信仰養成講座を開催し、会場となった福江教会信徒会館には約120人の信者が集まった。全5回からなる講座の初回のテーマは「諸宗教間の対話と実践」。

話と実践。参加者たちは講師の話に熱心に聞き、質疑応答や分かち合いでは盛り上がりを見せた。前半は下野英知師(教区本部事務局)が、第2バチカン公会議が打ち出したカトリック教会の諸宗教に対する姿勢と指針を、公文書をもとに説明。非キリスト者に対し

ては、尊敬と対話の姿勢が重要」と述べた。後半は下野千年師(教区エキュメニズム・諸宗教委員長)が担当した。野下師は、かつて自身が出演したテレビ番組「心のともしび」の映像を示しながら、世界の宗教指導者による平和への一丸となった取り組みや、日本でも行われている具体的なエキュメニズム運動

## 長崎教区の情報発信を支える

### 赤尾城司さん



市で勤務していた会社社長から店舗のHPをもち掛けられたのが始まり。当時は制作の経験も相談できる経験者も無く、独学でHPを開設計画を

た。2001年、インターネットによるボランティアとして、故郷の五島列島で活動する個人や団体の紹介を開始。最近では「地元の良いことをアピール

て、地域活性のお手伝いができれば」と仲間と共に地域フェリスブックなどで五島・長崎に関する情報配信や共有を行う。他のHPを参考にし、

を紹介した。講座後、「宗教の垣根を越えた関わりのため、相手の宗教への理解とベトロ

岩永千一神父 (高松教区)



9月2日午後5時1分、香川県小豆島町立内海病院にて肺炎のため逝去。89歳。1925年長崎市本原

バジリッサ 新立マミエ修道女 (純心聖母会)



8月23日、聖フランシスコ病院にて逝去。82歳。佐世保市で生まれ、1953年修練院に入所。55年初誓願、64年終生誓願宣立。初誓願宣立後

は、大村純心幼稚園、聖心幼稚園(佐世保市)・深堀純心幼稚園(長崎市)・内田橋聖アントニオ幼稚園(名古屋)などで幼児教育と教会奉仕に携わった。派遣された名古屋修道院(2012年3月に廃止)では、学校法人聖フランシスコ学園内田橋聖アントニオ幼稚園で32年間奉仕した。13年春からロザリオの聖母修道院で療養中であつたが、今年の6月頃から体調がす

石 碑 納 骨 堂 墓地工事 墓地分譲 (高尾・本原他)

なが さき せき ちょう

長崎石彫

ヨゼフ 岩永 博明

☎(095)862-2469

長崎市梁川町 6-17 岩永ビル

交通誘導警備 常駐警備 イベント警備

(有)小田警備保障

警備員募集!

電話 095-856-6524 FAX 095-856-6523

長崎市横尾3丁目31-15 代表取締役 パウロ 小田 睦

聖マリア学院 幼稚園・保育園・小学校

平成27年度 園児・児童募集!

Love to Learn and Learn to Love

《幼稚園》 第35回音楽祭 オープンスクール 学校説明会

《小学校》 入学試験 平成26年 9月20日(土)~ 10月31日(金)

11月15日(土) 10:00~11:30

学院体育館

幼稚園・保育園 小学校・中学校 の会場兼用は最善の形です!

HPをチェック!

〒852-8023 長崎市西町6番5号 Tel:095-844-1549 聖マリア学院 募集

白蟻調査無料・駆除工事5ヶ年保証付 白蟻防除施工士

大田白蟻研究所

代表者 マリア 大島 睦子

(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号

会 長崎 095-822-8436

FAX 095-822-8488

マイホームの美容と健康に!

(有)山川塗装

有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会 長崎県建物営繕工事業協同組合理事

代表取締役 ベトロ 山川 進

佐世保市原分町1715-5

TEL(0956)49-3330 FAX(0956)49-8729